

すこやか通信

2006.12.05 No.5

中村病院、病院機能評価の認定病院となる

本年10月、(財)日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定病院として認められました。認定病院は現在、全国で2194、東京都では181とまだ少ないですが、当院もその榮譽に輝くことになりました。

① 認定までの厳しい道のり

平成15年、理事長、院長が受審を決意してから認定まで3年余の年月が経ちました。具体的には平成16年5月、6領域(①病院組織の運営と地域における役割②患者の権利と安全確保の体制③療養環境と患者サービス④医療提供の組織と運営⑤医療の質と安全のためのケアプロセス⑥病院運営管理の合理性)の課題達成に向けスタートしました。平成17年7月、審査の結果、再審査となり、1年余にわたり禁煙防止の徹底、薬剤部門の整備、診療情報の一元化などの改善に努めました。地域の皆様と患者様の温かい支援に改めて感謝いたします。

② 認定の喜びとあらたな決意

◆本年3月で、中村外科医院開業以来50年を迎えました。数年前に病院を改築した際に器はよくなったが、これからは外部から評価される病院にならなくてははいけないと考え、受審を決意しました。医療の質の向上と職員の意識向上を図ることを目標に、職員一同が頑張った成果だと思っています。

今後も患者様中心の医療の質の向上を目指してまいります。(院長)

◆認定はゴールではなく、常に進歩し続けるものです。地域との連携を図り、患者様・ご家族様中心の思いやりのある看護・介護を提供していきます。(総看護師長)

◆認定病院として地域の皆様に信頼される病院を維持していくことに責任を感じます。これからも患者様が安心して安全に受診できる病院として努力してまいります。(事務局長)



【理念】

誠心をもって医業を行い、常に医術の向上をはかり、誠実に実行します。

【基本方針】

心暖まる医療・看護を目指し、患者さんの健康の回復に努力し、地域の住民の方々に奉仕します。これを誠実に実行することを我々の喜びと致します。

- ①地域の医院・診療所との連携を密にし、24時間診療体制をとっています。
- ②生活習慣病の予防及び地元企業に働く人々の健康管理に専門的な見地から寄与します。

胃・十二指腸潰のお話

消化器外科 秀嶋 周 先生

胃は、口で咀嚼された食べ物を更にドロドロにし、先の小腸で食餌中の体に必要な成分を吸収され易くする一過程の臓器です。

胃には、酸を分泌する細胞、粘液を分泌する細胞等が分布、これらを制御する迷走神経と胃粘膜の血流等が微妙なバランスを取り合って胃粘膜は正常に保たれています。ストレス・タバコのココチン・コーヒー等のカフェイン・アルコール多飲・過食・不規則な食餌摂取、更には40歳以降の方は粘液中に潜むピロリ菌の影響などが相俟って、これらのバランスを崩し胃潰瘍が発生します。十二指腸でもストレス等、胃潰瘍と同様の原因で過剰に分泌された胃液中の酸によって潰瘍が形成されることが多いのです。その症状は、胃潰瘍では食後のみぞおち付近の疼痛、十二指腸潰瘍では空腹時とか明け方のみぞおち付近の疼痛が典型で両者共に吐気を伴う事も多い様です。思いあたる方は一度、経鼻内視鏡で精査致しましょう。



当院医局長、日本外科学会認定専門医・消化器外科学会認定医

思い出の一枚 理事長 中村晃一

一枚の古い写真を見ながら、私がこの地に開業して間もない昭和35年頃の病院や病院の周囲のことを回想しました。

当時の八広地域は、物作りが盛んな地域でもたくさんさんの町工場がありました。中でもプレス工場の方がよくケガをされて中村病院に治療を受けに来られたことを記憶しています。病院の周りには駄菓子屋・パチンコ店などがあり少し歩くと橋銀座商店街と今と変わらずにぎわっていました。病院前の通りには、『吾嬬町西5丁目』（中村病院前）というトロリーバスのバス停があり、浅草方面に行くことができました。中村病院は開院当時から地域の皆様を大切に、共に頑張ってきました。

風景や町並みは大きく変わりましたが、これからも救急から療養まで患者様、また地域の皆様のために生きて居る限り一貫したサービスを提供できるように努力致します。



昭和35年頃の当院の正面付近のスナップ

医療相談室

病気や怪我をすると、健康な時には思っていなかったような様々な問題が生じたり、不安や心配を抱えたりすることがあります。予想外の状況に陥った時、不安ばかりが先走り、誰に相談したらいいのかわからなくなることがあるかもしれません。

そこで、医療相談室では、医療ソーシャルワーカーを2名配置し、病気等により発生した生活上の問題を解決する方法を探していきます。医療ソーシャルワーカーが、社会福祉の立場から、まず相談者とゆっくり話をする事で問題を整理し、一緒に考え、解決のお手伝いをさせていただきます。

相談をご希望される際には、看護師にお申し出ください。尚、相談において知り得た患者様やご家族様の情報について、秘密を厳守いたします。また、相談は無料です。

★相談室ご利用時間

月曜日～土曜日 9:00～17:00



心不全の話

ジギタリスという植物をご存知ですか?和名をキツネノテブクロ(狐の手袋)といい初夏に美しい花を咲かせます。この植物に心臓病を治す効果があるとわかったのは18世紀、その成分は時代を経て今日では化学的に合成され、心不全などの心疾患治療に用いられています。



ジギタリス製剤と並び心不全治療に欠かせない利尿薬(むくみをとる薬)は1950年代後半(中村病院がこの地で開業してしばらくした頃)になってやっと効果の安定した薬(サイアザイド)が登場、さらには1960年代になって非常に強力な利尿効果を有するループ利尿薬が臨床に用いられるようになり心不全治療に格段の進歩がもたらされました。

その後も医学の進歩に伴い心不全の病態解明が進むとともに、その治療学もまた変遷してきています。特に最近20年ほどの間の進歩はめざましく、弱った心臓のポンプ機能を回復させる強心薬による治療から、むしろ弱った心臓を休ませて暖かく保護していくやさしい治療が主役となってきました。

中村 滋 先生

皆さんは心不全と聞くと“怖い病気だ”と思われませんが、多くの患者さん達がこの病気を乗り越えながら元気に通院して来てくださっています。発症当時の医学では予後数年と思われた患者さんが10年20年と元気になってくださるのを見ると、医学の進歩を実感します。ひとくちに心不全といってもその原因はさまざまであり、病状も人それぞれですが、一番大切なのは食事を始めとする生活習慣であり、中断せずにきちんと薬と通院を続けていくことだと思います。



日本循環器学会専門医・
木曜日循環器内科外来担当

もちろんふだんから健康に留意して、心不全の原因となる高血圧や糖尿病などを管理するとともに、睡眠や食生活に注意を払い、適度な運動や禁煙を心がけ、肥満にならないように生活習慣に気をつけて、健康を保つ・増進させるように努力していくことが重要なのは言うまでもありません。

リハビリ室リニューアルしました!!

理学療法室 森下 隆行

当院では脳卒中で麻痺してしまった患者様や、転倒して足を骨折してしまった患者様などの治療を行っています。特に、痛みで困っている患者様の治療を積極的に行っています。痛みの元となっている筋肉の緊張を緩和したり、麻痺して動かない筋肉に直接刺激を与えて動くよう働きかけます。その他、関節の曲げ伸ばしや筋力トレーニング、ストレッチング、バランスエクササイズ、寝返り・起き上がりなどの基本動作エクササイズなどを行っています。また、各種物理療法機器も備えています。五十肩、腰痛、手足のシビ

レなどでお困りの方は是非、医師による診察時にご相談下さい。

今年度より、患者様のニーズに応えるべく理学療法士を増員しました。また、各種研修会に参加することで自己研鑽を積み、理学療法士養成校臨床実習施設となり、後進の育成にも力を入れています。

痛みでお困りの方がいらっしゃいましたら、医師を受診の上、理学療法室までお越し下さい。宜しくお願いします。

自衛消防審査会

今年も10月11日に東白髭公園にて自衛消防審査会が行われました。墨田区の事業所団体が2名1組で出火から消火までの活動訓練を事前に行い、その成果を審査会にて競うものです。当病院からも男性隊、女性隊一組ずつ出場しました。

残念ながら入賞は出来ませんでしたがこの大会で「実際現場で火災が起きた時」自分達はどのような行動を取るべきか学べたと思います。

出場した4人から訓練により学んだ事など聞いてみました。

レントゲン科 唐沢さん

「自衛消防訓練に出ると決まった時

はあまり気が進みませんでしたが普段扱う事のない消火栓などを使用するの訓練はとても勉強になりました。大会では残念ながら入賞する事は出来ませんでしたが有意義な時間を過ごせました」

看護科 加藤さん

「自衛消防に参加して感じた事は迅速な行動と周囲の人の協力がとても大事なのだと思いました。火災はいつ起きるかわからないからこそ日頃の火災訓練は大切だと思いました。」

栄養課 広田さん

「屋内消火栓の水が強くてとても驚きました。普段何気なくやってる消防士さんがすごいなと思いました。また来年も参加したいです」

栄養課 里見さん

「他の事業所の方がとても上手でした。意識を強く持って非常時には適確な対応が出来るように普段から備えておく事が大切だと感じました。貴重な体験が出来たと思います。」



来年もまた当病院から出場者を新たに参加します。多くの職員が参加することにより実際の火災現場で誰もが活動できるようになれると思います。

第5回は下町のおいしいパン屋さんトトムです。

このパンは毎週日曜日の当院のお昼ご飯になってます。

AM11:30店内は大変込み合っていてパンの焼けたいい匂いが漂ってました。トトム東向島本店の店主さんは平出論規典さん26歳です。昭和54年生まれの若さあふれる店主さんでした。

Q1.トトム創業の由来を教えてください。
A1.32年前はチョコレートケーキを出してる喫茶店だったそうです。15年位前からパン屋として出店したと聞いてます。ケーキ作りがパン作りにつながり今のトトムに…。32年前は喫茶店だったなんて想像つきませんね。

Q2.墨田区の印象を教えてください。
A2.道がまっすぐじゃ無いというか…入り組んでて難しいです。

Q3.この仕事をしてよかったと思うことは?

A3.難しいがやりがいがあることです。時間がないからといって作業を短縮できるものではないので。

毎朝早い時間からパン生地を作り、焼

きあがるまでの工程は一切手抜きできないそうです。それがトトムのおいしいパンの秘密かも…?

Q4.パン屋さんになったきっかけは?
A4.実家が栃木でパン屋してます。あまり家の仕事を意識した事はなかったのですが、高校生のころパン作りをしてる親の姿を見てこの仕事を考えるようになりました。

高校卒業後京王プラザホテルで6年間の下積みを経験した論規典さん。そして今年からトトムの店長さんとしてがんばっています。26歳なのにしっかり落ち着いて見えるのはやはり下積みの苦労があったのでしょうか。

Q5.若い頃の夢ってありましたか?
A5.バイク整備の仕事に興味ありましたね。

Q6.お店一押しのパンは?

A6.当店の一押しはゴマパンです。確かにゴマパンには一押しが立ってました。見た目の大きさはフランスパンのような感じですがゴマの粒々がイッパイ入ってておいしそう!

Q7.墨田の地域の皆さんに一言。



A7.これからトトムをよろしくお願ひします。入院中の方にもトトムの味を楽しんでいただけたらと思います。

この広報誌が出る12月にはパネトネ(イタリアの天然酵母の菓子パン)やクリスマス用のシュトーレンなどがオススメだそうです。店主さん、他のスタッフさん若さの活気あふれる下町のパン屋さんに行く価値あります!お気に入りのパンが1つどころか3つも4つも見つかる事間違いなしです。だって私は1人で4つ買って帰ってきましたから!!

富夢富夢
(東向島5-3-7 TEL03-3610-1651)

おみこじがやって来た!

9月17日午後、飛木神社祭礼の当日、北町会の神輿が2台、当院にやって来ました。大人の神輿と元気な子供の神輿です。担ぎ手の皆さんは、神輿を置いて、思い思いの場所に腰を下ろし、冷たい物を飲みながらしばしの休憩を取られました。総勢約200名、祭り好きの土地柄ならではの、重い神輿を上にと下に操りながら、息の合った掛け声も加わって、さすがに迫力のある担ぎぶりです。今年は飛木さんの本祭り、例年よりもさらににぎやかな様子でした。地域の皆様のたくさんの笑顔に、秋の到来と平和をしみじみ感じる良いひとときでした。同時に、これからも当院のスタッフで心を合わせ、医療を通じて地域の皆様の健康づくりに奉仕していかなくては…との気持ちを新たに致しました。



医療法人社団仁寿会

救急・労災指定

中村病院

院長 中村 隆

● 診療時間 ●

AM9:00~AM12:00

PM1:00~PM 5:00

PM6:00~PM 7:00

● 休診日 ●

日曜・祝日(但し、急患は随時受付致します)

〒131-0041墨田区八広2-1-1 TEL(3612)7131(代)

● 診療科目 ●

麻神	リハビリ	泌尿	皮膚	脳	消化	胃腸	循環	整外
経	内	器	科	科	科	科	科	科
科	科	科	科	科	科	科	科	科

当院では「神経内科」と「麻酔科」を平成17年4月より追加致しました。



編集後記

- 初参加でわからない事ばかりでしたが、楽しみながら取り組みました。(T)
- ひたすらガンバルので、これから宜しくお願いします。(M)
- 良い物ができあがったと思います。次回もがんばります。(S)
- 皆様のお陰で、第5号も無事発行できました。(YOSHI!)